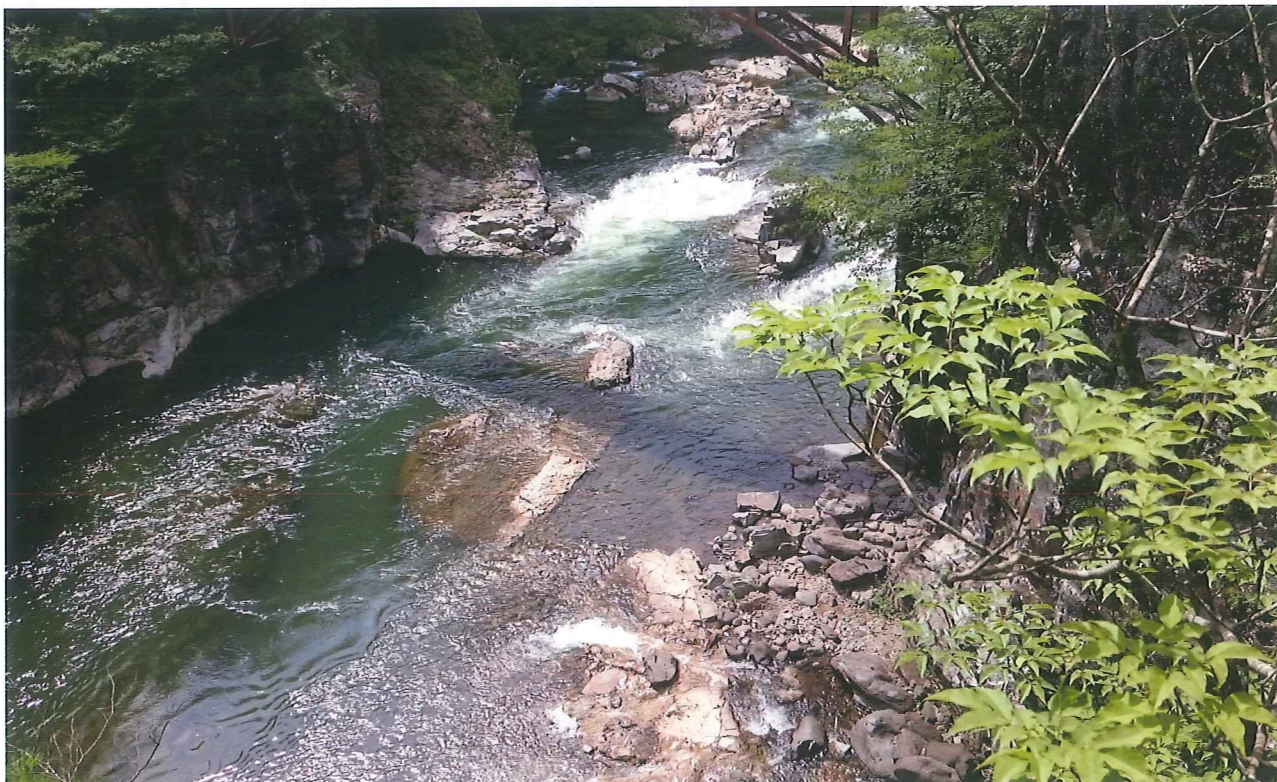




社会福祉法人 村 山 苑

# 村山苑だより



## 「何時の時代においても大切にすべきこと」

保育支援グループ

グループ長 石井 司



「すべての子ども、子育て家庭を対象に、幼児教育、保育、地域の子どもの子育て支援の質量の拡充を図る」ことを主眼とした「子ども子育て支援新制度」も、早いもので施行から四ヶ月を経過しました。

現在、内閣府に新たに創設された「子ども子育て本部」では、新制度施行後の進捗状況等についての検証作業が進められておりますが、七月二十七日に開催された第二十五回「子ども子育て会議」に提出された「自治体との情報交換意見交換会の実施状況報告」等の関係資料を見ましても、認定事務（支給認定区分保育の必要量）や利用調整・入所決定事務、施設型給付費等の給付に係る事務量の増大や運用部分での改善すべき課題がまだまだ数多く残されていることが伺えます。

さて、新制度の立ち上げと相俟つて、東村山市内においてもこの間、認証保育所の認可保育所へ移行、小規模保育事業所への株式会社・NPOの参入が相次ぐなど、子ども子育てを取巻く環境も大きな変化を見せてきております。そのような中で、制度改革の主眼でもある「待機児童の解消」という観点から現在の状況を見ますと、市内における待機児童数は本年四月二十時点で三十二名（確定値）となっており、数年前と比較すると大きな改善は見えますがその一方で、保育所を含む「施設型・地域型」事業での欠員は百一名と、需要と供給の関係が逆転するという、以前では考えられなかった新たな状況も生み出されてきています。

つばみ保育園の歴史を振り返りますと、「産休明け保育」「障害児保育」事業を公立保育園等に先駆けて実施した歴史があります。それは何時の時代においても子ども子育てを取巻く環境やその実態と真摯に向き合ってきたという証ではないかと思っております。

大きな制度改革の渦中にある今、私たちはそのことの大切さを確認し合い、保育園という「箱物」事業に留まらず、地域に向けての様々なウイングを拡げていくことを通して、村山苑の保育三園が地域の中でなくてはならない「子育ての発信基地」としての機能と役割を果たせるよう努力を積み重ねてまいりたいと考えております。

# 高齢分野の 情勢報告

ほんちようケアセンター

施設長 江澤 尚通

「今回の改定で悲鳴を上げているようでは、三年後は持たないだろう」といった声をよく耳にします。というのも、今回の介護保険改正は過去最大の改正と言われていますが、今回の改正は三年後の平成三十年を見据えた中間の改正であり、次につながる布石が多く隠されている変化の第二步にすぎないからです。

四月二十七日に行われた財政制度等審議会財政制度分科会において、財務省は三年後の介護報酬改定について、現行報酬レベルよりさらにマイナスにすべきであると主張しています。そのため、要介護一以下が対象のサービスを、効率化に向けて市町村の裁量を広げる「地域支援事業」に移行するとともに、そのうち訪問介護の生活援助や福祉用具の貸与、住宅改修の給付について、自己負担を原則とする仕組みに切り替えることを提言し、要支援者への訪問介護とデイサービスも、原則として自己負担にすべきと意見しています。また、給付制限も拡大が模索される中

で、この制限について全サービスを対象にし、原則介護給付は要介護三以上を対象にするという方針を示しています。自己負担三割の対象者も、今回の一定以上の所得者だけではなく、資産も勘案される形へ拡大されることが検討されています。要は団塊の世代が後期高齢者になる二〇二五年、介護サービスを使う人の数は増大し続け、介護給付費の自然増分をどう抑制するかが喫緊の課題となるわけで、介護報酬をさらに引き下げて、なおかつ給付対象者と給付対象サービスを、現行より絞り込むことは不可欠な状況としており、介護事業者においては、今後かなり厳しい経営を強いられることとなります。

とりわけ、デイサービスの経営は今後ますます厳しくなることが予想されます。増えすぎたデイサービスは玉石混在であり、これからは質の良い事業所だけが生き残る淘汰がはじまります。本当にデイサービスを必要としている方にとって頼れる事業所であること、そして質の高いサービスを提供し、利用者の方々にもケアマネジャーにも注目されれば、今後の事業所になる努力が必要であり、今後増加が見込まれる認知症高齢者や重度の要介護者に対する対応力の向上、予防の意味合いも含めた社会参加促進や心身機能訓練等による生活機能の維持向上といった観点からサービスの充実を図ることにより、経営の安定

性を高めていく必要があるのです。集客なくして、事業を継続していくことはできません。

ダーウインの言葉に、「最も強い者が生き残るのではなく、最も賢い者が生き延びるものでもない。唯一生き残ることができるのは、変化できる者である」というものがありますが、世の中の状況、流れにうまく乗って、いち早く対応、変化できたものが最も多くを得て、この介護業界で生き残ることができるのであろうと思います。

ハトホーム

在宅サービスセンター

センター長

星野 澄子

今年の四月の介護保険改正により事業所は料金的大幅引き下げや、介護度の重い方が多い事業所には中重度ケア体制加算、また中・重度の認知症の方には専門講座を受講した職員が勤務している日は認知症加算が付くなどの新たな制度できています。この八月からは利用料が二割負担の方も出るようになります。

現在私どもの事業所は通所介護と介護予防のサービスを提供しています。現状では介護度のやや重い方が利用されていることから、中重度加算が取得できました。通所介護

は、今までご家族の介護負担の軽減といった理由でのご利用が多かったと思いますが、今後は機能訓練や認知症への対応に主眼が置かれるようです。当事業所は機能訓練加算は取っていませんが、理学療法士による機能訓練を提供しており、それがご利用者の方々からは好評をいただいております。今後は質の高いサービスの提供という点からはこの体制を維持していきたいと考えています。また介護予防の方も通われています。来年度から東村山市も総合事業の中に介護予防を位置づける予定です。現在通われている方はそのまま移行できそうですが、今後利用を希望される方がどのようになるのか気になるところです。新しい介護予防と日常生活支援総合事業については情報を集めながら対応していきたいと思えます。さらに東京都の地域包括ケアシステムは病院を退院する方が地域で生活を継続していけるように、医療から介護まで切れ目のないシステム作りを目指しています。通所介護事業もこの中で、今後の事業展開を考えていかなければなりません。医療との連携、認知症対応、お元気な高齢者との関わり方など、住みなれた地域で生活し、出来るだけ健康を維持していけるサービスを提供できるよう、考えていかなければならないと思っています。

## 平成26年度事業報告について

平成27年5月27日開催された理事会・評議員会において、「平成26年度事業報告」並びに「平成26年度決算報告」は、下記のとおり議決されましたのでお知らせいたします。

なお、本苑の事業報告書・決算書は頁数が相当数に及びますので、その要旨のみを紙上掲載いたします。法人事務局に「平成26年度事業報告書・決算書」がございますので、詳細をお知りになりたい方は、事前にお電話で来訪日をお知らせいただければ閲覧していただけます。また、ホームページ上でも公表しております。

## 平成26年度 事業報告

社会福祉法人に対する社会の厳しい目を背景に、「社会福祉法人の在り方等に関する検討会」、及び「社会保障審議会福祉部会」で議論がなされ、報告書が提示された。現在、社会福祉法及び関連法の改正案が開会中の通常国会に提出されている。その行方が注目されることである。今後、社会福祉法人に対して経営組織の強化、事業運営の透明性の向上、地域貢献事業等への積極的な取り組みが強く求められる。村山苑の各施設は周辺の事情を慎重に見極めながら、これらの諸問題に備え、法人の将来展望を見出す努力をしなければならない。

### 1. 法人体制及び各施設共通事業

平成26年度は、制度改正等に伴う次年度以降の課題に如何に対処するか、その準備に追われた1年であったように思う。具体的には、社会福祉法人改革、生活困窮者自立支援法の創設、子ども子育て支援新制度及び介護保険報酬改定及び障害福祉サービス等報酬改定等に対する法人各施設の対応である。特に、介護保険の報酬改定は、社会福祉法人が経営する介護保険事業には資金的余裕があるとの理由で、大幅な減額改定が行われた。今後3年間、法人が経営する介護保険事業は非常に厳しい状況が予測される。これらの課題に対処するため、法人本部体制と施設長会議の充実を図り対応した。しかし、介護保険事業においては、稼働率や業務の効率化など実質的な効果を上げることはできなかった。

今年度計画に挙げた本部経理職員の常勤配置は、煩雑化する経理事務処理を一部外部委託する中で、一定の効果を上げることができ、次年度以降の職員配置を考えるうえで参考となった。また、「生活相談所事業」も、徐々にではあるが関係職員の努力により、地域に周知の輪が広がり、相談件数も増加し、今後に期待が持てる状況となりつつある。

毎年重要課題として挙げている中の、職員確保、定着、育成に関しては、給与制度の改正が必要と判断し、2年間の時間をかけて職員に説明して理解を得、実施することができた。次年度以降の職員研修の持ち方や、制度の運用方法の検討が必要である。しかし、メンタルヘルスについては、施設長会議や嘱託医等と相談しながら取り組みを進めたが、新たな対象職員が発生するなどがあり、次年度以降の課題としたい。

### 2. 介護保険事業

平成26年度は、介護保険事業所にとっては非常に厳しい年であった。矛先が、特別養護老人ホームの「多額の内部留保」に目が向けられ、結果として、今回の介護報酬の改定は、「介護報酬削減ありき」を前提としたものとなり、基本的に給付抑制と負担増という財政事情を優先するものとなっている。とりわけ特養は6%もの削減が行われ、27年度からの事業所経営にとって一層厳しくなることが予想される。そのため、26年度を27年度介護報酬改定に対応した体制づくりの年度と位置付けてきた。

ハトホーム(特養)本体は、欠員を遅滞なく埋める事、稼働率を上げる決め手は短期入所であることを確認しつつ稼働率アップに取り組んだ。ハトホーム(特養)本体はベッド稼働率97%、短期入所は1日当たりの利用者数10名を目標とした。結果は本体のベッド稼働率95.3%、短期入所は1日当たり8.1名に終わった。年度前半は欠員を遅滞なく埋めることにより目標を達成できた月もあった。しかし、後半はインフルエンザの集団感染もあり、入院や死亡等による欠員が予想を超え目標達成には及ばなかった。短期入所はインフルエンザの集団感染の時期を除き、入所率100%(1日8名)を上回り目標を達成することができた。また、27年度から特養の「重点化」が打ち出されたことから、中重度者の入所に備え、業務の見直しや必要に応じてシフトの見直しなどの検討に着手した。

ハトホーム在宅サービスセンターの通所介護は、26年度17名の利用を目標にして活動した。しかし、年度当初から目標を下回ることが多く、利用率向上に向け、空き情報付の広報誌を毎月発行し、各居宅介護支援事業所に送付した。また入浴を含め利用者の様々な要望に出来るだけこたえる努力をしてきたことが、少しずつだが利用率向上につながり、年度末の3月には利用目標(1日17名)を達成することができた。

ほんちようケアセンターの平成26年度実績は77,487,178円となり、収入目標であった77,043,000円を上回り、何とか目標を達成することができた。事業別では、居宅介護支援事業の実績が、昨年度より若干下回る結果となったが、他事業においては、利用者数、実績とも伸展させることができた。

介護保険事業全体に言えることだが、今回の制度改正は、厳しい介護保険事業経営環境に更に追い打ちをかける結果になった。利用者の生活と雇用を守り事業を継続することは事業者としての責務であり、引き続き各事業の稼働率向上を目指

すとともに、経費節減に努めていく必要がある。職員のコスト意識を高め、職員力を高め、質の高い仕事をしていける体制を整え、顧客・利用者と地域社会に満足度の高いサービスで評価を受けることができるよう、これからも最大限の努力を払っていきたい。

### 3. 生活保護施設事業

生活困窮者自立支援法が平成27年4月1日施行される。新制度においては、自治体が実施主体となって、自立相談支援事業、住居確保給付金支給、就労準備支援事業、家計相談支援事業、学習支援事業等、生活困窮者の自立支援に関し包括的な事業実施が予定されている。

村山荘、さつき荘は、平成27年度の新制度施行をにらみながら、全国救護施設協議会が示した「救護施設が取り組む生活困窮者支援の行動指針」に基づき、救護施設利用者に求められる自立を促し、地域移行支援や利用者が望む他種別施設への移管を積極的に勧め、要保護者を緊急的に受け入れる循環型の施設を目指した。しかし、利用者の高齢化、重度化等により、他種別施設への移管がある程度増加した反面、地域生活への移行は思い通りに進めることができなかった。一方、地域生活移行が困難な利用者には、利用者の能力や身体機能に応じた日常生活自立支援や、社会的なつながりを回復させ、維持を図る社会生活における自立支援を行った。その結果、利用者に自立に対する積極的な姿勢が見られるようになった。

計画として挙げた「むらやまえん生活相談所」との連携については、地域の生活困窮者支援に取り組み、一定の成果を上げることができた。しかし、独自事業として実施している居宅生活訓練事業は、次年度の事業申請を目指して積極的に取り組み、両施設で延べ33名、278日の実績がありながら、住宅の確保等に手間取り事業申請に繋げることができず、継続事項とした。一時入所事業については、両施設で延べ14名、243日の利用があった。

### 4. 保育事業

平成27年4月、「子ども・子育て支援新制度」が本格施行される。新制度の施行に伴い、子ども・子育て支援の仕組みが大きく変わることとなる。村山苑の三保育園においては新制度の施行により、「運営規程」「重要事項説明書」の抜本的な改正、「保育の必要量の認定」に伴う「コアタイム」や延長保育料金の設定等を始めた各種の申請・事務手続きの変更等、今年度は新制度の立ち上げを目前に控えて、その準備・対応に追われた一年であった。

三保育園の保育目標は「たくましく」である。保育所保育指針に基づき、三保育園の特性を生かしつつ、保育並びに保護者支援を行うことを目標として計画を策定し平成26年度に臨んだ。運営管理については、東村山市の待機児童解消への協力として、今年度も昨年度に引き続き、三保育園とも定員を上回る園児の受け入れを継続した。また、今年度より、東村山市を5つのエリアに分けた「子ども・子育てエリアネットワーク」が新たに立ち上げとなり、各園がそれぞれのエリア会議に積極的に参加し、地域の子育て世代が必要とするニーズや意向を把握、子育て支援に活用できる情報誌作りに協力した。

法人内の共通事項としては、「国分寺市立日吉保育園」の民営化法人募集の要請を受け、法人として応募することを決定した。移管法人の選定にあたっての審査対象は「つばみ保育園」が指定され、第一次・二次・三次審査を経て、最終的に村山苑が移管法人として選定された（平成28年4月より自主運営開始）。既に、国分寺市による保護者の方々への説明会が開催され、一方、法人では移管に向けての主だった職員の異動を決定した。平成27年度は、移管を円滑に進める重要な期間と位置付け、「引継」を慎重かつ丁寧に実施したいと考えている。

### 5. 障害福祉サービス事業

平成26年度の障害福祉情勢は、障害者総合支援法の施行によって、「障害程度区分」が「障害支援区分」に名称が変更され、精神障害者や知的障害者の特性を反映できる内容に改められた。これにより、障害者自身の必要度に応じた支援が受けられるようになった。また、来年度、施行が予定されている障害福祉サービスの報酬改定は、基本報酬は減額とされたが、重度者支援や地域生活支援には厚くなっており、全体的には±0の改定となり、施設経営にとっては有利になると思う。福祉事業センターは、今年度も「働く喜びをすべての人に」を目標とし、①就労継続支援B型においては作業時間の短縮による柔軟な利用者支援体制の充実 ②就労移行支援では訓練活動の見直しによる効果的な利用者支援体制の構築 ③各種情報の収集、整理、共有と活用の促進という3点の基本方針を掲げ、多機能型事業所として、就労継続支援B型及び就労移行支援の2事業を実施した。利用者状況は障害種別を問わず、知的、身体、精神、発達障害等の利用者を受入れ、利用延べ人数16,835人、1日あたり平均利用者数は66.7人（利用率83.2%）と前年度を上回ることができた。また、登録者数についても、定員の80名前後を推移しているが、年間平均は就労継続支援B型で66.4名（定員65名）、就労移行で14.1名（定員15名）と昨年度実績を上回ることができた。事業内容は支援実績、運営収支ともに安定した状況で推移し、就労継続支援B型においては、作業時間の短縮により作業売上の減収が心配されたが、売上額、工賃支払額ともに、年度目標を上回ることが出来た。就労移行支援では、他事業所において定員の削減や事業廃止等が検討されている状況の中、職員の努力と関係諸機関の協力もあって、年間を通して利用者を確保することができ、7名の就職者を送り出した。しかし、長年の課題である作業売上と業務負荷については、改善傾向にはあるものの、次年度以降への宿題とした。

最後に、次年度に開設を予定している村山苑障害者計画相談支援室（きせき）については、今年度内に開設準備を終えることができ、次年度以降の利用が可能となり、地域との連携強化が図りやすくなって、期待が持てるところである。

村山苑だより

【法人名】 社会福祉法人 村山苑

(自)平成26年4月1日 (至)平成27年3月31日

資金収支計算書

(単位:円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	
事業活動による収支	収入				
	介護保険事業収入	864,039,000	861,607,212	2,431,788	
	保育事業収入	731,197,000	735,027,166	△3,830,166	
	就労支援事業収入	38,505,000	39,054,995	△549,995	
	障害福祉サービス等事業収入	157,355,000	157,020,221	334,779	
	生活保護事業収入	679,117,000	679,133,586	43,414	
	医療事業収入	9,460,000	9,373,692	86,308	
	独自事業収入	945,000	900,600	44,400	
	借入金利息補助金収入	3,936,000	3,934,136	1,864	
	経営経費寄付金収入	5,991,000	6,393,867	△402,867	
	受取利息配当金収入	1,710,000	1,691,045	18,955	
	その他の収入	17,798,000	17,943,345	△145,345	
	事業活動収入計(1)	2,510,113,000	2,512,079,865	△1,966,865	
支出	人件費支出	1,716,365,000	1,710,639,973	5,725,027	
	事業費支出	347,871,000	339,974,405	7,896,595	
	事務費支出	186,213,000	176,357,381	9,855,619	
	就労支援事業支出	39,244,000	39,097,167	146,833	
	社会貢献事業費支出	139,000	61,854	77,146	
	利用者負担軽減額	332,000	291,537	40,463	
	支払利息支出	4,725,000	4,700,918	24,082	
	その他の支出	12,354,000	12,288,036	65,964	
事業活動収入計(2)	2,307,243,000	2,283,411,271	23,831,729		
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		202,870,000	228,668,594	△25,798,594	
施設整備等による収支	収入				
	施設整備等補助金収入	29,217,000	29,217,000	0	
	設備資金借入金収入	6,000,000	6,000,000	0	
	施設整備等収入計(4)	35,217,000	35,217,000	0	
	支出	設備資金借入金元金償還支出	48,076,000	48,076,000	0
		固定資産取得支出	81,079,000	78,358,000	2,721,000
ファイナンス・リース債務の返済支出		863,000	862,212	788	
施設整備等支出計(5)	130,018,000	127,296,212	2,721,788		
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)		△94,801,000	△92,079,212	△2,721,788	
その他の活動による収支	収入				
	投資有価証券売却収入	25,000,000	25,000,000	0	
	積立資産取崩収入	34,089,000	34,195,552	△106,552	
	その他の活動による収入	2,000	21,689	△19,689	
その他の活動収入計(7)		59,091,000	59,217,241	△126,241	

村山苑だより

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)
その他の活動による収支	積立資産取崩支出	141,282,000	141,258,714	23,286
	その他の活動による支出	25,266,000	25,305,700	△39,700
	その他の活動支出計(8)	166,548,000	166,564,414	△16,414
その他の活動資金収支支出差額(9)=(7)-(8)		△107,457,000	△107,347,173	△109,827
予算支出(10)		0	-	0
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		612,000	29,242,209	△28,630,209

前期末支払資金残高(12)	835,740,637	835,740,637	0
当期末支払資金残高(11)+(12)	836,352,637	864,982,846	△28,630,209

【法人名】 社会福祉法人 村山苑

(自)平成26年4月1日 (至)平成27年3月31日

事業活動計算書

(単位:円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動増減の部	収益			
	介護保険事業収益	861,607,212	855,557,615	6,049,597
	保育事業収益	735,027,166	705,848,032	29,179,134
	就労支援事業収益	39,054,995	39,157,474	△102,479
	障害福祉サービス等事業収益	157,020,221	146,499,609	10,520,612
	生活保護事業収益	679,133,586	676,640,105	2,493,481
	医療事業収益	9,373,692	10,110,051	△736,359
	独自事業収益	900,600	597,200	303,400
	経営経費寄附金収益	6,393,867	5,783,240	610,627
	その他の収益	2,412,480	2,063,060	349,420
サービス活動収益計(1)		2,490,923,819	2,442,256,386	48,667,433
費用	人件費	1,721,241,135	1,701,135,159	20,105,976
	事業費	339,974,405	331,994,207	7,980,198
	事務費	176,357,381	157,990,966	18,366,415
	就労支援事業費用	39,664,619	40,475,821	△811,202
	社会貢献事業費	61,854	0	61,854
	利用者負担軽減額	291,537	335,555	△44,018
	減価償却費	123,802,087	133,313,685	△9,511,598
	国庫補助金等特別積立金取崩額	△60,549,959	△70,456,110	9,906,151
サービス活動収益計(2)		2,340,843,059	2,294,789,283	46,053,776
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)		150,080,760	147,467,103	2,613,657

村山苑だより

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動外増減の部	収益			
	借入金利息補助金収益	3,934,136	5,032,924	△1,098,788
	受取利息配当金収益	1,691,045	1,244,502	446,543
	その他のサービス活動外収益	15,530,865	15,277,010	253,855
	サービス活動収益計(4)	21,156,046	21,554,436	△398,390
	費用			
支払利息	4,700,918	5,796,335	△1,095,417	
その他のサービス活動外費用	12,288,036	12,371,905	△83,869	
サービス活動収益計(5)	16,988,954	18,168,240	△1,179,286	
サービス活動増減差額(6)=(4)-(5)	4,167,092	3,386,196	780,896	
経営増減差額(7)=(3)+(6)	154,247,852	150,853,299	3,394,553	
特別増減の部	収益			
	施設整備等補助金収益	29,217,000	32,198,750	△2,981,750
	固定資産受贈額	448,000	1,502,700	△1,054,700
特別収益計(8)	29,665,000	33,701,450	△4,036,450	
特別増減の部	費用			
	固定資産売却損・処分損	22	58,829	△58,807
	国庫補助金等特別積立金積立額	19,695,000	22,687,000	△2,992,000
	特別収益計(9)	19,695,022	22,745,829	△3,050,807
特別増減差額(10)=(8)-(9)	9,969,978	10,955,621	△985,643	
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	164,217,830	161,808,920	2,408,910	
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)	1,311,476,634	1,233,798,714	77,677,920
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	1,475,694,464	1,395,607,634	80,086,830
	基本金取崩額(14)	0	0	0
	その他の積立金取崩額(15)	28,280,000	28,000,000	280,000
	その他の積立金積立額(16)	124,742,000	112,131,000	12,611,000
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	1,379,232,464	1,311,476,634	67,755,830



村山苑だより

貸借対照表

平成27年3月31日現在

【法人名】 社会福祉法人 村山苑

(単位:円)

資 産 の 部				負 債 の 部			
科 目	当年度末	前年度末	増 減	科 目	当年度末	前年度末	増 減
流動資産	981,196,469	947,121,489	34,074,980	流動負債	166,998,986	160,446,826	6,552,160
現金預金	762,708,748	755,596,000	7,112,748	事業未払金	51,740,619	43,933,351	7,807,268
事業未収金	183,650,738	164,572,256	19,078,482	その他の未払金	282,204	4,517,897	△4,235,693
未収補助金	22,996,695	11,296,628	11,700,067	1年以内返済予定設備資金借入金	50,076,000	48,076,000	2,000,000
貯蔵品	56,288	62,579	△6,291	1年以内返済予定リース債務	862,212	862,212	0
仕掛品	152,849	116,249	36,600	1年以内支払予定長期未払金	0	245,700	△245,700
立替金	100,993	100,000	993	未払費用	34,447,508	34,055,245	392,263
前払金	153,736	136,560	17,176	預り金	13,702,987	12,974,571	728,416
前払費用	11,276,422	15,139,528	△3,863,106	職員預り金	15,887,456	15,781,850	105,606
前払費用(一年基準)	0	1,689	△1,689	固定負債	374,574,188	409,236,654	△34,662,466
その他の流動資産	100,000	100,000	0	設備資金借入金	171,507,000	215,583,000	△44,076,000
固定資産	3,759,004,569	3,698,375,611	60,628,958	リース債務	1,215,794	2,078,006	△862,212
基本財産	1,351,342,634	1,421,336,379	△69,993,745	退職給与引当金	201,851,394	191,575,648	10,275,746
建物	1,351,342,634	1,421,336,379	△69,993,745				
その他の固定資産	2,407,661,935	2,277,039,232	130,622,703	負債の部合計	541,573,174	569,683,480	△28,110,306
建物	508,470,659	486,489,208	21,981,451	純資産の部			
構築物	17,164,719	14,955,934	2,208,785	基本金	240,968,676	240,968,676	0
機械及び装置	1,443,461	1,721,753	△278,292	第1号基本金	240,968,676	240,968,676	0
車輛運搬具	6,394,614	10,535,328	△4,140,714	国庫補助金等特別積立金	1,061,306,144	1,102,709,730	△41,403,586
器具及び備品	57,163,883	55,122,585	2,041,298	その他の積立金	1,517,120,580	1,420,658,580	96,462,000
有形リース資産	1,214,066	1,605,038	△390,972	人件費積立金	191,400,000	191,400,000	0
権利	1,924,698	1,924,698	0	施設・設備整備積立金(措置)	301,122,950	268,070,950	33,052,000
ソフトウェア	4,947,321	2,052,680	2,894,641	都施設・設備整備積立金	168,776,680	165,086,680	3,690,000
無形リース資産	863,940	1,335,180	△471,240	施設設備整備積立金	36,800,000	21,800,000	15,000,000
投資有価証券	0	25,000,000	△25,000,000	人件費積立金(保育)	171,450,000	171,450,000	0
退職給付引当資産	201,851,394	191,575,648	10,275,746	保育所施設・設備整備積立金	374,357,239	329,637,239	44,720,000
人件費積立資産(措置)	191,400,000	191,400,000	0	都・市保育所施設・設備整備積立金	29,288,965	29,288,965	0
施設・設備整備積立資産(措置)	301,122,950	268,070,950	33,052,000	東村山市保育所施設・設備整備積立金	14,050,610	14,050,610	0
都施設・設備整備積立資産	168,776,680	165,086,680	3,690,000	移行時特別積立金	206,494,937	206,494,937	0



村山苑だより

資 産 の 部				純 資 産 の 部			
科 目	当年度末	前年度末	増 減	科 目	当年度末	前年度末	増 減
施設設備整備積立資産	36,800,000	21,800,000	15,000,000	工賃変動積立金(就労)	1,892,934	11,015,199	△9,122,265
人件費積立資産(保育)	171,450,000	171,450,000	0	設備等整備積立金(就労)	5,936,265	12,364,000	△6,427,735
保育所施設・設備整備積立資産	374,357,239	329,637,239	44,720,000	授産時不況時保証積立金	9,122,265	0	9,122,265
都・市保育所施設・設備整備積立資産	29,288,965	29,288,965	0	授産時機械設備積立金	6,427,735	0	6,427,735
東村山市保育所施設・設備整備積立資産	14,050,610	14,050,610	0	次期繰越活動収支差額	1,379,232,464	1,311,476,634	67,755,830
移行時特別積立資産	206,494,937	206,494,937	0	うち当期活動収支差額	164,217,830	161,808,920	2,408,910
工賃変動積立預金(就労)	1,892,934	11,015,199	△9,122,265				
設備等整備積立資産	5,936,265	12,364,000	△6,427,735				
授産時不況時保証積立資産	9,122,265	0	9,122,265				
授産時機械設備積立資産	6,427,735	0	6,427,735				
差 入 保 証 金	80,000	40,000	40,000				
その他の固定資産	89,022,600	64,022,600	25,000,000	純資産の部合計	4,198,627,864	4,075,813,620	122,814,244
資産の部合計	4,740,201,038	4,645,497,100	94,703,938	負債及び純資産の部合計	4,740,201,038	4,645,497,100	94,703,938

平成26年度 苦情受付状況

村 山 荘	11件
さ つ き 荘	11件
ハ ト ホ ー ム	4件
ハ ト ホ ー ム 在 宅	6件
ほんちょうケアセンター	25件

福 祉 事 業 セ ン タ ー	8件
つ ぼ み 保 育 園	2件
ふ じ み 保 育 園	3件
ほんちょう保育園	10件

苦情解決第三者委員

任期 平成27年4月1日～平成28年3月31日

熊 谷 厚
-------



野 田 敦 子
---------

各施設の詳細については、村山苑のホームページをご覧ください。

## 監査報告書

平成27年5月21日

社会福祉法人 村山苑  
理事長 品川 卓正 殿

監事 長田 皓子   
監事 岡部 雅人 

### 監査報告書の提出について

私たち監事は、社会福祉法第40条及び社会福祉法人村山苑定款13条並びに経理規定62条に基づき、別紙の通り監査報告書を提出致します。

以上

## 監査報告書

私たち監事は、平成26年4月1日から平成27年3月31日までの平成26年度の事業年度に関して、理事の業務執行の状況及び社会福祉法人村山苑の財産の状況について監査いたしました。その結果につき以下のとおり報告いたします。

### 1. 監査の方法の概要

監事は、理事会その他重要な会議に出席するほか、理事等からその職務の執行状況を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧し、各施設及び法人における業務及び財産の状況を調査しました。また、会計帳簿等の調査を行い、計算書類及び事業報告書につき検討いたしました。



さらに、村山荘、ハトホーム、さつき荘における、利用者預かり金残高と通帳その他の証憑突合及び利用者預かり金の期末残高について、残高証明書との突合を行ないました。

### 2. 監査の結果

- (1) 会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、貸借対照表、事業活動収支計算書及び資金収支計算書の記載と合致しているものと認めます。
- (2) 貸借対照表、事業活動収支計算書及び資金収支計算書は、法令及び定款に従い法人の財産、事業活動及び資金収支の状況を正しく示しているものと認めます。
- (3) 重要な会計方針は記載のとおりであると認めます。
- (4) 事業活動報告書は、法令及び定款に従い、法人の状況を示しているものと認めます。
- (5) 理事の職務遂行に関する不整の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- (6) 利用者預かり金に関する不正な行為又は法令に違反するような事実は認められません。

平成27年5月21日

社会福祉法人 村山苑

監事 長田 皓子   
監事 岡部 雅人 

新任職員より一言

ハトホーム

介護職員 岡本 友子

入職してはや三ヶ月がたちましたが、まだ毎日緊張することも多く、教えてもらうことばかりです。他の法人の特養での経験があったので、それほど業務内容は変わらないであろう、と思っていました。が、実際は理念も考え方も違い、新しいことがなかなか頭に入らず、大きな事故を起こさず過ごせているのはひとえに先輩職員のおかげです。そんな状態ではありますが、この法人で働けることをとても嬉しく思っています。古くからある法人であることは地域で生まれ育っているもので以前から知ってはいましたが、新人オリエンテーションで戦後の混乱の時期から困窮に陥った人々を苦勞しながら地域で支えてきた長い歴史を初めて知りました。その実績にあらためて驚くと共に、その理念に感動しました。都度、理念に立ち返りながら、さまざまな決断をしてきた結果、今の村山苑があることは、この地域で暮らす私にとつては有り難く、また誇りでもあ

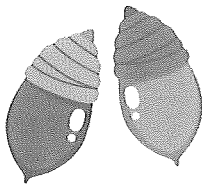
ります。若くはないので新人から始めるのは大変ですが、ここで働ける喜びを忘れずに精進していこうと思えます。よろしくお願いいたします。

ハトホーム

介護職員 吉田 綾香

私は専門学校を卒業し、実習でお世話になった村山苑に就職しました。数か月間経ちましたが、初めてのことで、専門学校で学んだことを思い出しつつ新しいこともたくさん学んでいます。

ハトホームはとても大きな施設で、たくさんの方がいらつしゃいます。多くの人がたちと関わり、コミュニケーションをとり一人一人の入居者の方に合った介護が出来るよう頑張りたいと思います。そのためにも、これからさらに多くの事が学べるよう入居者はもちろん、先輩の職員の方々、入居者のご家族からたくさん学びたいと思います。これからご指導の程、宜しくお願ひします。



ハトホーム

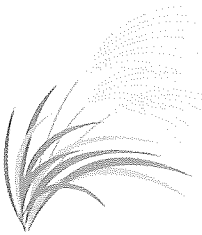
機能訓練指導員 大平 孝行

私は、今年四月からハトホームのリハビリ職員として入職しています。

これまで、リハビリ関連の仕事として居宅リハビリ、有料老人ホーム等で七年ほど経験を積んできました。そして現在は、ハトホームで業務にあたっている訳ですが、私はこの施設の中で非常に興味深い言葉を耳にしました。

「ともに優しく生きる」という言葉です。この言葉は施設の理念ですが、入職間もない私はこの言葉に感銘を受けました。普通「優しさ」は一方的に与える、受けるものと捉えませんが、「共に」という言葉が刻まれることで、決して一方的ではない印象を受けます。

福祉・介護の世界は、何かと二方的に見られがちですが、この施設の理念を念頭に据えていけば、そうではないと私は考えます。このハトホームで、私は多くの人と共に優しく生きていけるように努力してまいります。



村山荘

相談員 松 紀枝

この春より村山荘に配属になりました松紀枝と申します。村山荘からほど近い所に祖父母の住まいがあり、幼いころから慣れ親しんだ地域で働けることを嬉しく思います。簡単ではありますが、この場をお借りしてご挨拶させていただきます。

学生時代はアルバイトで貯めた資金を使ってヨーロッパやアフリカを旅しました。わたしを今の仕事に導いてくれた、「社会と人」、「人と人との繋がり」に対する興味はそうした旅先での様々な人々との出会いから生まれたものです。

四月より村山荘の相談員となり、多くの業務に携わらせていただいたております。まだ経験も知識も未熟であるが故に失敗が多く、反省する日々を過ごしています。しかし、お忙しいにもかかわらず、施設長を始め多くの先輩方から職種を超えてご指導を賜ることができ、恵まれた環境で働けることに感謝申し上げます。一日も早く村山荘の職員として信頼される働きができるように、丁寧に業務に取り組みたいと思えます。ご迷惑をおかけ致しますが、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

村山荘

援助員 川口 佳華

四月一日より入職しました川口佳華です。私は三月まで高校に通っており、高校卒業後、就職しました。始め、村山荘がどのような所なのか、あまり想像が付きませんでした。救護施設とは、どのような施設なのかすごく考えました。特別養護老人ホームとは違い、利用者様の年齢は少し若く、自立している方が多く、介護というよりも生活の支援をする施設だと知りました。身体障害の方もいらつしやいますが、精神障害の方もいらつしやいます。私は、精神障害をもっている方との関わり方が凄く難しく感じました。どのように関わったら心を開いてくださるか、利用者一人ひとりの障害や気持ちを考えて会話しることが難しい反面、少し心を開いてもらえると凄く嬉しく思います。利用者様が私に笑顔で話しかけてくれ、名前を覚えて呼んでもらえる事で頑張れます。まだ、四ヶ月ほどしか経っていませんが、村山荘はとても素晴らしい施設だと思います。職員も良い人ばかりで、分からない事をすごく分かりやすく教えてくれ、利用者様との関わり方も見て勉強になっています。本当にやりがいのある仕事だと思います。これからも頑張ります。

村山荘

援助員 遠山 若葉

この度、四月より村山荘職員として採用して頂きました、遠山若葉と申します。私は以前、今は亡き祖母と共に生活をしてきたことがキツカケで介護に興味を持つようになりました。高齢になるにつれ、介護を必要とする祖母の為に「何か役に立ちたい、力になりたい」と思うようになり介護の専門学校に行きました。資格を取得後、すぐに就職はせず、これまで十三年間専業主婦として家庭を支えました。十四歳、十二歳、十歳の三人の子宝に恵まれ育児に家事にと大忙しでした。子供達も大きくなり、手も離れてきた為、自分の中で「資格を活かして働いてみたい」という思いが強くなりました。一年半前よりパートとし働かせて頂いておりました。

日々の利用者への対応の難しさ、障害の特性などあらゆる面で解らない事だらけでしたが、温かい先輩方より丁寧にご指導頂き少しずつですが成長していると思えます。とても奥深く大変な仕事ですが、その分喜びも大きくやりがいのある仕事だと実感しております。一杯頑張っていきたいと思えますのでどうぞ宜しくお願いします。

村山荘

援助員 山澤 京子

村山荘に入職して、あつという間に三ヶ月が過ぎました。パート職員として働いていたさつき荘とは業務も利用者の数も全て違い、毎日が緊張の連続でした。今も緊張感は抜けていませんが、周りの先輩職員の方の助けを頂き、日々の業務によりやく慣れて来たところ

様々な人生を歩んで来た方々が、この施設で生活を共にし、そこから自立を目指して日々の課題に努力していく。その方々を援助し共に歩んでいる毎日が、楽しくもあり、精神力のいる仕事だと感じています。まだまだ、分らないことばかりで、ご迷惑をおかけいたしますが、何卒よろしく願います。

つぼみ保育園

保育士 牧野 稜

今年度より村山苑で働く事になりました。配属はつぼみ保育園の一歳児クラスを担当しております。つぼみ保育園で働いて三ヶ月が経ちますが、「話せるようになった」「トイレに行くようになった」「名前を呼んでくれるようになった」などちょっとした子どもの変化

を感じることができうれしく思いますが毎日働いています。また、毎日接するうちに少しずつですが子どもたちとの間に信頼関係が築けてきたと感じるようになりました。

学校では子どもや保育士について様々な事を学んできましたが、実際に働いてみて子どもが怪我をした時の対応、保護者への関わり方、行事について、保育以外の保育士の仕事について等学ぶことはまだまだたくさんあるのだと実感しました。働き始めていくつかの失敗もありましたが、その失敗や経験を活かしながらこれからも働いていきたいです。

まだまだ分からないことは多いですが、職場の先輩たちからたくさんのお話を学び経験を積んで保育をしていきたいと思えます。

つぼみ保育園

保育士 五十嵐 陸

今年度からつぼみ保育園で働かせていただくことになった五十嵐陸と申します。

まだ働き始めてから数ヶ月しか経っておらず、わからないことが多いですが、職場の先輩などに支えられながら仕事を頑張っています。

私は新任職員として、社会人としての基本的なマナーを身に付けることや自分が担当している年齢の子どもの発達について学ぶことを目標として頑張りたいと思っています。社会人としてのマナーについては、これから他の職員の方や保護者、地域の方と関わっていくうちに、失敗もあると思いますが学んでいきたいと思っています。自分の担当している年齢の子どもの発達については、日々の保育の中で子どもについて自分なりに考えたり、先輩の方に聞いたりし学んでいきたいです。また保育の研修があれば積極的に参加したり、本などから子どもについて学んだりし、自分の保育の幅を広げていきたいです。

一ヶ月間お休みを頂くことで、職員の方々に大変ご迷惑をお掛けしてしまいました。そんな私にも、つばみ保育園の先輩方は優しく励まし、体を気遣ってくれました。日々思い通りに動けないことも多く、頑張ろうと思うと余裕がなく空回りしてしまう毎日ですが、二つ二つ丁寧に指導してくれる先輩方の中でつばみ保育園で働くことができる幸せを感じております。

私は、三歳児を担当させてもらうことになり、日々パワフルな子どもたちに囲まれ楽しく保育させて頂いています。一つ二つのことに正面から向き合い、子どもたちと共に楽しんでいくと、たくさんのおステキな想いを伝えてくれたり、成長する姿を見せてくれる子どもたち。まだまだ不安や迷いもありますが、先輩方に助けてもらいながら、一日一日を大切に、初心を忘れずに保育していきたくと思っています。

私は今、0歳児の担任を任せられ、毎日天使のように可愛い子どもたちに囲まれて楽しく働いています。慣れない事ばかりで分からないことや失敗も多いですが、先輩方の丁寧なご指導、支えがあるお陰でとても充実した日々を送ることができ感謝しています。

これからこの保育園で働くにあたって、常に笑顔と明るさ、優しさを忘れずに子どもたちや保護者の方々と、職員の方々とコミュニケーションを取り、より良い関係を築いていきたいと思っています。

笑顔があふれる環境の中で育った子どもは笑顔が自然と出る子どもになると思います。私自身、家族や親戚、周りの人から沢山の笑顔と愛情を受けて育ってきました。保育園に通う子どもたちは保護者と過ごす時間よりも保育園にいる時間の方が長い子が大勢います。その子どもたちに持ち前の笑顔をお忘れずに日々全力で接し、沢山の愛情を注ぎ、自然に笑顔が溢れる子どもに育てていきたいと思っています。まだまだ未熟者な私ですが、精一杯努力しますので今後ともどうぞよろしくお願い致します。

つばみ保育園

保育士 坂田 奈美

つばみ保育園には、以前派遣職員として約二年間お世話になりました。念願叶って職員としてつばみ保育園に入社することができ、四月から頑張つて働こうと思つていた矢先に怪我をしてしまいました。

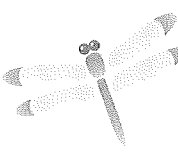
ふじみ保育園

保育士 松本 純子

四月からふじみ保育園で働かせていただき、保育士としての第一歩を踏み出してから四か月が過ぎました。三十代も半ばを過ぎてから保育士となることを志して、学生に戻ること一大決心でしたが、再

ほんちよう保育園  
保育士 高橋 優香

私は、幼稚園の頃に出会った先生に憧れて「この先生のようにになりたい」と小学生の頃からずっと変わらぬ思い続け、高校・短期大学と保育科の学校で学び、ついにこの春、保育士になることが出来ました。そして、ほんちよう保育園で働かせていただき、早いもので約四カ月が経ちました。



## 施設通信

「ほんちよう保育園の子育て支援」

ほんちよう保育園  
保育士 大窪 良子

ほんちよう保育園では、子育て支援として、一時保育、子育て広場、育児講座(手作り遊具講座等)プレママ体験、出前保育、小・中・高生の職場体験などを行っています。

ここでは、プレママ体験をご紹介します。ここでは、プレママ体験とは、出産前後の親子さんに、実際に在園時の様子を見てもらい、子どもとの関わり方や悩み相談等に応じ、育児不安の解消に少しでも役立てて頂けるように行っています。

対象は、妊婦さん、生後六カ月未満のお子様を子育て中の方です。ほんちよう保育園とケアセンターの掲示板と子育て広場にポスターを貼った、市役所、児童館や図書館、近隣の産婦人科にご協力頂き、お知らせを置かせてもらい参加を呼びかけています。実際にたんぽぽ組(0歳児クラス)の保育室に入つて頂く為、一日クラスに二組という定員を設けています。今年度は、現在までに六月に三回、七月に二回行っています。いずれの日も予約がいっぱいで多くの方に参加頂いています。

具体的な内容としては、保育の中

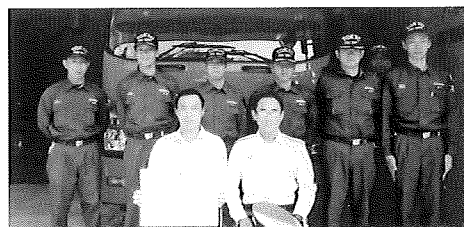
でいつも行っている、わらべうた、バランスボールや布を使用しての平衡感覚あそびを一緒に楽しんだり、散歩に同行していただきながら育児の悩み等のお話を聞く時間も大切にしています。離乳食については、悩みやすいため方など相談に応じ、実物の離乳食や子どもが食べている姿を見て頂くことで、家庭での離乳食に役立てて頂けたらと思っています。

現在、孤立しがちな地域の子育て家庭の親子さんに保育園の様々な体験をしてもらうとともに、これから出産を迎える子育て経験のない方に、保育者が乳児と関わる様子を見てもらうことにより、子育てのイメージを持ち、育児不安の解消を図ることができればと願っています。

これからも、子育て支援として行っている事業をより多くの方に利用して頂けるよう発信していき、少しでも育児の手助けをしていければと思っています。



## 人命救助で消防署表彰



ほんちよう保育園保育士の田茂井雅人さんが、駅のホームから落ちた高齢者の人命救助にあたり、東村山市消防署より表彰を受けました。田茂井さんの勇気ある行動に敬意を表します。

## 村山苑が経営している施設

- 〒1890024 東京都東村山市富士見町2-7-5  
法人本部 ☎04213993-8496
- むらやまえん生活相談所 ☎0421313-0301
- 村山荘(救護施設) ☎0421391-1262
- ハトホーム(特別養護老人ホーム) ☎0421393-1754
- ハトホーム在宅サービスセンター ☎0421398-2555
- 福祉事業センター(障害福祉サービス事業) ☎04213995-6336
- 村山苑障害者計画相談支援室(きせき) ☎0421306-0874

〒1890024 東京都東村山市富士見町2-8-2

●さつき荘(救護施設) ☎04213996-2244

〒1890024 東京都東村山市富士見町2-2-2

●つばき保育園(保育所) ☎04213993-6400

〒1890024 東京都東村山市富士見町2-7-5

●ふし保育園(保育所) ☎0421394-0936

〒1890014 東京都東村山市本町3-45-1

●ほんちよう保育園(保育所)

☎0421399-2100

●ほんちようケアセンター(高齢者施設)

☎0421399-2102

## ■あとながき■

今年の夏も各地で猛暑が続きましたが、残暑も十月上旬までとも言われています。皆様におかれましても体調管理には、ご苦労されている事と思います。無理をせず程よい休息を取るとともに、今年の暑さに負けない熱い気持ちを持って利用者サービスの向上に取組んで行きたいと思えます。(YA)

―表紙の写真―

「龍王峡」にて 提供者:YA

本紙は本人同意のもとに写真作品等を掲載しております。

\* \* \*  
ご意見・感想等お気付きの点がございましたら、左記へお寄せ下さい。

平成二十七年九月十五日 発行  
東京都東村山市富士見町二七二五  
社会福祉法人 村山苑  
発行者 品川 卓正  
印刷所 東京都同胞援護会事務局  
東京都墨田区両国四一―一八